

第4章 技（五段）

【正誤式】（○か×で回答）

1. 踵返は、片手で相手の踵を内側または外側から刈って投げる技である。
2. 朽木倒は、相手の両脚を同時に抱えて後方へ押し倒す技である。
3. 隅落は、左足を相手の右足外側に踏み込み、右後隅へ崩し落とす技である。
4. 払釣込足は、相手を前方に釣り込み、右足で相手の右足首を払う技である。
5. 横落は、相手を右側方へ崩し、左脚を相手右足外側へ滑らせて投げる技である。
6. 谷落は、相手を前方へ崩し、左脚を相手前方へ滑り込ませて投げる技である。
7. 横捨身技に分類される技の多くは、相手を後方に崩して投げる種類が多い。
8. 朽木倒では、相手の片脚を取って引き上げる動作が含まれている。
9. 踵返は、足ではなく手を使って相手の踵を刈る技である。
10. 隅落は、相手の重心を右後隅へ移動させることで成立する技である。
11. 払釣込足は、左足で相手の右足首を払うことで投げる技である。
12. 横落の捨身方向は左向きである。
13. 谷落は、体を右向きに捨てる技である。
14. 踵返は、相手の踵を刈ることで直下に落とすように投げる技である。
15. 朽木倒では、相手の脚を外側から取る場合もある。
16. 隅落では、左足を相手の左足内側に踏み込むことで崩しが成立する。
17. 払釣込足は、「払う足」と「釣り込む動作」を同時に行う必要がある。
18. 横落は、足を刈る技ではなく、足を滑らせて位置を作る技である。
19. 谷落では、左脚を相手の後方に滑らせる動作がある。
20. 踵返の攻撃点は相手の足裏である。
21. 朽木倒の崩す方向は「後方」である。
22. 隅落は、押し落とす技ではなく、引き落とす技である。
23. 払釣込足は、相手が横に移動している状況で効果を発揮しやすい。
24. 横落は、相手の体が前方に出ているときにかけやすい技である。
25. 谷落は、捨身技に分類される。
26. 踵返は、捨身技に分類される。
27. 朽木倒は、相手の片脚を内側または外側から取る技である。
28. 隅落は、左足を踏み込む位置が技の成否に大きく影響する。
29. 払釣込足は、相手の前進を止める技であるため、引き手は不要である。
30. 谷落では、体を左向きに捨てて引き落とす動作を行う。

【正誤式:解答】

1○

2×

3○

4×

5○

6×

7×

8○

9○

10○

11○

12○

13×

14○

15○

16×

17○

18○

19○

20×

21○

22×

23×

24×

25○

26×

27○

28○

29×

30○

【穴埋め式】

1. 踵返は、相手の踵を()から刈って投げる技である。
A: 内側または外側 B: 上側 C: 足裏側
2. 朽木倒は、相手の片脚を()取って後方に押し落とす技である。
A: 必ず外側から B: 内側または外側から C: 前方からのみ
3. 隅落は、左足を相手の()に踏み込んで崩す技である。
A: 右足外側 B: 左足内側 C: 左足外側
4. 払釣込足は、相手を前方に釣り込み、()で相手の右足首を払う技である。
A: 左足 B: 右足 C: 両足
5. 横落は、相手を()へ崩し、体を左向きに捨てて投げる技である。
A: 左側方 B: 右側方 C: 前方
6. 谷落は、相手を後方に崩し、()に脚を滑り込ませて技を掛ける。
A: 相手前方 B: 相手後方 C: 相手の外側
7. 踵返は、()技に分類される。
A: 足技 B: 捨身技 C: 手技
8. 朽木倒は、相手の片脚を取る際、()動作を行う。
A: 引き上げる B: 蹴り上げる C: 押しつける
9. 隅落の崩す方向は()である。
A: 右前隅 B: 右後隅 C: 左後隅
10. 払釣込足の成立には、払う動作と()が同時に必要である。
A: 押し込み B: 釣り込み C: 踏み込み
11. 横落は、足を「掛ける」技ではなく、足を()技である。
A: 蹴る B: 滑り込ませる C: 巻き込む
12. 谷落は、体を()向きに捨てて掛ける技である。
A: 右 B: 左 C: 正面
13. 踵返では、相手の踵を刈る際、主に()を使う。
A: 前腕 B: 拳 C: 片手
14. 朽木倒の崩し方向は()とされている。
A: 後方 B: 前方 C: 側方
15. 隅落は、()ことで相手を押し落とす形となる。
A: 腰を引く B: 左足を正しく踏み込む C: 右肩を入れる
16. 払釣込足が最も決まりやすいのは、相手が()動いた時である。
A: 後退 B: 前進 C: 静止
17. 横落は、()に崩れた相手に掛けやすい技である。
A: 前方 B: 右側方 C: 後方

18. 谷落は、() 技に分類される。
A: 立技 B: 横捨身技 C: 後ろ技
19. 踵返は、相手の() に対する攻撃である。
A: 押し B: 踵 C: 突き
20. 朽木倒は、相手の脚を取って() ことで成立する技である。
A: 押し落とす B: 跳ね飛ばす C: 回転させる
21. 隅落は、足の踏み込み位置が() に影響する技である。
A: 速度 B: 技の成否 C: 礼法
22. 払釣込足の釣り手の働きは相手の() を崩すことである。
A: 右肩 B: 重心 C: 首
23. 横落は、受の足が() ときに特に掛けやすい技である。
A: そろった B: 開いた C: 踏み込んだ
24. 谷落では、引き落とす動作と() が連動する。
A: 後方への捨身 B: 前方移動 C: 頭を下げる
25. 踵返は、相手の() を攻める足技である。
A: 腰 B: 踵 C: 背中
26. 朽木倒は相手の() を崩し後方へ押し落とす技である。
A: 重心 B: 握り手 C: 視線
27. 隅落は、相手を() へ崩す技である。
A: 右後隅 B: 左前隅 C: 右前隅
28. 払釣込足の払う部位は、相手の() である。
A: 足裏 B: 足首 C: 左膝
29. 横落は、() 方向に体を捨てる技である。
A: 左 B: 右 C: 前
30. 谷落は、() 位置へ脚を滑らせて掛ける技である。
A: 相手の外側 B: 相手の前方 C: 相手の後方

【穴埋め式:解答】

1A

2B

3A

4A

5B

6B

7A

8A

9B

10B

11B

12B

13C

14A

15B

16A

17B

18B

19B

20A

21B

22B

23A

24A

25B

26A

27A

28B

29A

30C